

モデルプログラム C-2 学校の受け入れ体制ー学校内の指導体制ー

ねらい	自治体・学校によって指導の体制が異なり、それぞれの利点や課題等があることを理解し、自身や他者の役割の違いとその重要性について理解する。
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 教師を目指す学生(教員養成課程他) <input checked="" type="checkbox"/> 日本語教育を学ぶ学生 <input checked="" type="checkbox"/> 現職 <input checked="" type="checkbox"/> 日本語指導担当教員 <input checked="" type="checkbox"/> 現職一般教員 <input checked="" type="checkbox"/> 管理職 <input checked="" type="checkbox"/> 指導主事 <input checked="" type="checkbox"/> 日本語支援員/母語支援員
日本語指導・外国人児童生徒等教育の経験	<input checked="" type="checkbox"/> 経験なし <input checked="" type="checkbox"/> 1年目 <input checked="" type="checkbox"/> 2-4年 <input type="checkbox"/> 5年-9年 <input type="checkbox"/> 10年以上
高めたい資質・能力	<input type="checkbox"/> 捉える力(子どもの実態把握) <input checked="" type="checkbox"/> 捉える力(社会的背景の理解) <input type="checkbox"/> 育む力 (日本語・教科の力の育成) <input type="checkbox"/> 育む力(異文化間能力の涵養) <input checked="" type="checkbox"/> つなぐ力(学校作り) <input checked="" type="checkbox"/> つなぐ力(地域作り) <input checked="" type="checkbox"/> 変える/変わる力(多文化共生社会の実現) <input type="checkbox"/> 変える/変わる力(教師としての成長)
主な内容	C 学校の受け入れ体制
活動形態	<input type="checkbox"/> 講義型 <input checked="" type="checkbox"/> 活動型 <input type="checkbox"/> フィールド型 <input type="checkbox"/> 実習
時間	60分
流れ(・項目)	活動(◇活動の工夫)
1. 学校の指導体制について知る。(10分) ・校内の指導体制(C) ・自治体の指導体制(C) 2. 学校内の指導体制の多様性を理解する。(35分) ・校内の指導体制(C) ・自治体の指導体制(C) 3. 担当教員等の役割を知る。(15分) ・校内の指導体制(C) ・地域、専門家との連携・協力(L)	1. 小中学校の外国人児童生徒等の指導体制に関する図の読み取り等を通して、イメージをつくる。 ・外国人児童生徒等教育にどのような教職員、外部の支援員などが関わっているか、また、教員加配の制度について知る。 ・取り出し指導と入り込み指導の違いを知る。 ・学校外の他の施設で指導を受ける場合があることを知る。 2. 校内の指導体制に関わる事例(数例)を読んで指導体制を図に表し、自治体・学校によって指導の体制が異なることを理解する。 1) グループに分かれ、ア～エから1つを選び、その指導体制を図式化する。 ア 加配教員が担当し、日本語学級が設置されている例。 (教育委員会派遣の日本語指導員・母語相談員がいる) イ 教員加配・日本語学級はなく、学内で担当者を配置し、教育委員会等からの派遣日本語指導員が中心に取り出し指導をしている例。 ウ 学外に初期の集中日本語教室があり、児童生徒が通級している例。初期指導終了後は、自校で教育委員会派遣の日本語指導員が取り出し・あるいは入り込み指導を行う。 エ 隣接の拠点校の担当教員が週に数回巡回で指導に来る例。学内には、地域のボランティア支援員が入り込み支援を行う。 2) 上記の各支援体制の利点と課題等について、話し合ったことを発表する。 3. 学校の指導体制(2の事例を参照)による担当教員等の役割の違いとその重要性について、話し合いを通して理解する。 ・担当者・管理職・学級担任・学内の他の教職員の役割の違い ・学内の外国人児童生徒等の理解を図ること ・地域の関係機関、支援者・支援団体との協力関係構築 ◇必要に応じて新聞記事、ウェブサイトの記事、動画等を示すとよい。
備考	・ウェブサイトは、「CLARINET へようこそ」を参照するとよい。 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/main7_a2.htm) ・短時間で扱う場合は、2を中心にする。なお、講義型の後に実施する場合は、

1 は割愛する。
